



野生イノシシの関与による アフリカ豚熱侵入に備えて

近年、近隣国で感染が拡大しているアフリカ豚熱は、豚やイノシシに感染する致死率の高い伝染病です。このアフリカ豚熱が国内に侵入した場合、畜産物の安定供給に深刻な悪影響を与えるおそれがあることから、動物検疫所が検疫を強化しています。

土産や個人消費用の海外の食肉製品のほとんどは、検査証明書（※）の取得が難しく、国内に持ち込むことができないため、入国の際はご注意ください。

※検査証明書とは、家畜の病気を広げるおそれのないことを記載した、輸出国の政府機関が発行する証明書です。



埋置作業の様子



搬出作業の様子

感染拡大の要因としては、特に野生イノシシの関与が極めて大きいと考えられております。そのため、沖縄県では、令和6年12月にアフリカ豚熱の感染が疑われる野生イノシシの死体が発見されたことを想定した防疫演習を実施しました。防疫演習では、農林水産省消費・安全局動物衛生課や沖縄県農林水産部畜産課、農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門の担当者から、アフリカ豚熱の現状や対策、最新情報についての説明後、家畜保健衛生所職員指導のもと、市町村職員などが防護服を着用し、消毒や埋置、搬出の作業などの実演・確認が行われました。

アフリカ豚熱など家畜伝染病の侵入防止のため、国内外から旅客が到着する空海港での靴底消毒マット設置なども行われています。また、お

お問合せ先

農林水産部 消費・安全課
☎098-866-1672



インバウンド対応と 輸出拡大に向けた セミナーを開催しました！

経済産業部では、委託事業により県内小売店等のPOSデータから身近なインバウンド観光客の購入傾向や、海外商社のヒアリングから海外ニーズ情報等の実態を把握するための分析を行い、そして沖縄県産品・沖縄県内企業側の課題を抽出し、その対策を検討することで、沖縄県産品のさらなる輸出拡大に繋げるための調査を行いました。その調査から得られた情報を沖縄県内企業の皆さまに広く共有し、インバウンド対策や輸出の拡大に取り組むためのオンラインセミナーを令和7年2月から3月にかけて、全3回開催しました。

いけばよいかを解説しました。全3回で多様な業種から延べ1000名を超える方に参加いただきました。経済産業部では、引き続き輸出拡大に向けた情報発信や支援を行ってまいります。



セミナーの様子（萌す様）



セミナーの様子（Vpon JAPAN 様）

お問合せ先

経済産業部 商務通商課
☎098-866-1731